

平成9年度をふり返って

— 盛況だった巡回展 —

館長
中力 昭

平成9年度を無事終了するにあたり、開催した展覧会を中心として思いつくままに感想を記したい。

平成9年度から、来館者のみなさんにより理解していただきやすいように年間の展覧会を常設展、企画展、特別展とし、常設展は春季展、夏季展、秋季展、冬季展と季節ごとに分け、それぞれ特別陳列を加え展示を行った。

春季展では、昨年度購入し、東京国立博物館で補強し、お色直しされた赤韋威大鎧や国宝太刀一文字（山鳥毛）、不受不施派の総本山妙覚寺（御津町）の宝物などを特別展示するとともに、企画展として、県指定の有形重要文化財のうち未展示の資料や近年指定された資料を公開し好評を博した。

夏季展は特別陳列に新収蔵資料となった古備前などを展示するとともに企画展として夏休み期間中子どもさん向けに「ふねとくらし」のテーマのもとに各種の舟を陳列し、瀬戸内地方の海と川で活躍した舟の歴史を中心に、それにまつわる民俗行事を紹介した。

秋季展は特別陳列に吉備津彦神社の宝物を多数展示するとともに、「歴史を彩るひとびと—岡山の大名と家臣たち—」の特別展を開催し、岡山県が生んだ、あるいは岡山県内で活躍した歴史上の人物を取り上げ、関係資料を展示し、その人物像や業績を紹介した。特に今年度は江戸時代の人々のうち、大名とその家臣たちに焦点をあて、岡山藩、津山藩、松山藩などの大大名をはじめ足守藩や岡田藩などの小大名とその家臣にも目を向け、関係資料を公開した。冬季展は特別陳列として県内に残されている優れた絵馬を紹介するとともに、巡回展を開催し、「発掘された日本列島'97—新発見考古速報展—」を文化庁の埋

藏文化財公開普及事業の一環として実施し、全国各地で昨年発掘された資料とともに岡山県内で近年発掘された埋藏文化財を公開した。この展覧会は東京をはじめ、全国の5ヶ所の地方都市で開催され、当館は年末の12月というあわただしい時であったが、1万人近い人たちに鑑賞していただき、好評だった。平成10年度は奈良国立博物館の優品を公開することにしており、今から楽しみにしているところである。

岡山県立博物館が開館して28年、建物その他の施設の老朽化が目立ち始めている。しかし、生涯学習社会が進展する中で、博物館が人々の学習機関と位置づけられ、従来とは違った見方と期待がされるようになっており、見て、体験して、楽しんで学習していただける機関として、職員は、一丸となって常に努力し、来館者の期待にこたえるように頑張っているところである。岡山県立博物館が県民により親しまれ、岡山県の文化の継承、発展の中心として、時代が動くように望んでやまない。



特別展

歴史を彩るひとびと

—近世の大名と家臣たち—

平成9.10.25(土)～11.24(月)

平成8年度から3年計画で、岡山ゆかりの歴史上の人物を紹介する特別展は今年度2年目を迎えた。今年度は、江戸時代の大名やその家臣たちを紹介した。

江戸時代は幕藩体制と呼ばれる中央集権体制が成立し、幕府のもとに大名が藩を単位に政治をおこなった時代であった。県内には、岡山藩、津山藩などの大藩があり、備中地方には小規模な藩が集中した。このほか、幕府直轄の天領が置かれ、倉敷・笠岡・久世などには代官が派遣された。

展覧会では、県内の諸藩をできるだけとりあげることとし、次のような11の項目で構成した。紹介した藩主・家臣、代官はおよそ70人にのぼり、このうち木像・画像などが残ってその容姿を知ることのできる人物は30人をこえた。

- 1 岡山藩主小早川氏・池田氏と家臣
- 2 足守藩主木下氏
- 3 庭瀬藩主戸川氏・板倉氏
- 4 備中国奉行小堀遠州
- 5 松山藩主水谷氏・板倉氏と家臣
- 6 成羽藩主山崎氏
- 7 新見藩主関氏
- 8 岡田藩主伊東氏と家臣
- 9 津山藩主森氏・松平氏と家臣
- 10 勝山藩主三浦氏
- 11 笠岡代官と久世代官

今回、県内の諸藩の藩主や家臣に関係する資料を幅広く調査し、公開したことから、関係資料の残り方に相当な差があることを痛感した。

例えば、岡山藩の資料がまとまって残されているのに対し、津山藩の藩主・家臣についての資料は散逸している感が否めない。画像の類は



小早川秀秋木像 京都市 瑞雲院

描かれなかったため残らないのか、明らかでないが、大藩であった津山藩にして皆無に等しく、三代で改易となった森氏、その後藩主となった松平氏も世継ぎ問題では苦勞しているから、資料の残り方と大名家の家督相続の成否は深くかかわっているように思われる。

県内諸藩の藩主、家臣を相対的に見ることによって、各藩に藩の風を見ることができた。新見藩主関氏は津山初代藩主森忠政の外戚で、森氏が改易された元禄10年(1697)に新見藩を立藩したものであるが、初代長治が養父長政を描いて菩提寺西来寺へ納めた画像は注目された。中国風の濃厚な色彩のこの画像は江戸時代初期のころ、わが国の文化に大きな影響を与えた黄檗風の絵画で、いち早く黄檗宗の文化を取り入れた関氏の進取の風をうかがわせた。また、津山松平氏が浮世絵師歙形蕙斎を藩の御用絵師に抜擢した異例ともいえる人事は、新しい画風や学問を先取りする姿勢が津山藩にあったことを推測させ、洋学者が津山藩に輩出する素地がここにあったことをうかがわせた。

このほかにも、岡山県の歴史にかかわった人々の関係資料を一堂に会して公開することで、新しい発見も多かった展覧会であった。なお、展覧会期間中の11月1日(土)には、就実女子大学文学部長柴田一氏による「岡山藩の元禄時代と池田綱政」と題する講演会を開催した。



山崎豊治画像 成羽町 桂巖寺

主な展示資料

(○印は県指定重要文化財を示す。)

1 岡山藩主小早川氏・池田氏とその家臣

小早川秀秋

小早川秀秋木像 1 軀 京都市 瑞雲院

○金陵山古本縁起(寛文本) 1 帖 岡山市 西大寺観音院

池田忠継と忠雄

池田忠継木像 1 軀 岡山市 清泰院

池田忠雄画像 1 幅 鳥取県立博物館

伊賀越の仇討と渡辺数馬・荒木又右衛門

荒木又右衛門起請文 1 幅 上野市

伊賀越敵討之図 1 面 鳥取市 玄忠寺

池田光政とその家臣

池田光政・綱政連署起請文 1 通 岡山大学池田家文庫

熊沢蕃山画像 1 幅 個人

津田永忠書状 1 通 備前市 閑谷地区

池田綱政と歴代岡山藩主

池田綱政画像 1 幅 岡山市 曹源寺

池田継政画像 1 幅 岡山市 金山寺

池田継政筆絵馬「諫太鼓と鶏図」 1 面 岡山市 吉備津彦神社

池田宗政画像 1 幅 岡山市 曹源寺

池田治政木像 1 軀 岡山市 曹源寺

2 足守藩主木下氏

木下家定画像 1 幅 岡山市 大光寺

木下利房画像 1 幅 京都市 圓徳院

3 庭瀬藩主戸川氏と板倉氏

戸川氏

戸川安成寄進法華経 80巻 岡山市 盛隆寺

戸川安貞寄進陀羅尼品 1 巻 早島町 妙法寺

板倉氏

板倉重昌画像 1 幅 愛知県西尾市 長圓寺

板倉重昌辞世和歌 1 幅 岡山市 清山神社

(岡山市教育委員会所管)

4 備中国奉行小堀遠州

小堀遠州画像 1 幅 高梁市 頼久寺

備中松山城図 1 舗 滋賀県浅井町 孤蓬庵

5 松山藩主水谷氏・板倉氏と家臣

水谷氏

水谷勝隆画像 1 幀 高梁市 定林寺

板倉氏

板倉勝重画像 1 幅 愛知県西尾市 長圓寺

板倉勝静画像 1 幅 愛知県西尾市 長圓寺

山田方谷画像 1 幅 高梁方谷会

熊田恰画像 1 点 高梁市

6 成羽藩主山崎氏

山崎豊治画像 1 幅 成羽町 桂巖寺

絵馬「鳳凰図」・「麒麟図」山崎義方奉納

1 対 2 面 成羽町 大元八幡神社

7 新見藩主関氏

関長政画像 1 幅 新見市 西来寺

関長治判物 1 通 新見市

関氏陣羽織 1 領 個人

8 岡田藩主伊東氏と家臣

藩公実録 4 冊 倉敷市立中央図書館

伊東長壽奉納絵馬 1 面 真備町 東園神社

9 津山藩主森氏・松平氏と家臣

森氏と家臣

○妙向尼画像 1 幅 津山市 妙願寺

森家先代実録・補遺 28冊 個人

森忠政所用甲冑 1 領 赤穂市 大石神社

長尾勝明筆「院庄胎文」 1 巻 津山市 清眼寺

安藤夫人絵位牌 1 基 久米南町 誕生寺

松平氏と家臣

拾万石御領知郷村御高帳 1 冊 個人

鍬形蕙斎

江戸一目図屏風 6 曲 1 隻 津山郷土博物館

徒然草屏風 6 曲 1 双 神奈川県立金沢文庫

那須余一扇の的 1 枚 神奈川県立歴史博物館

版本 今様職人尽歌合 1 冊 たばこと塩の博物館

10 勝山藩主三浦氏

初代明次筆「芝蘭」・「空青」 2 幅 勝山町

三浦顕次所用陣羽織 1 領 個人

11 笠岡代官と久世代官

井戸平左衛門

井戸平左衛門画像 1 幀 島根県大森町 井戸神社

井戸平左衛門遺訓 1 禎 石見銀山資料館

安原備中守画像 1 幅 島根県大森町 清水寺

早川八郎左衛門

早川代官遺訓 1 通 個人

典学館規条 1 冊 個人



特別展記念講演会

発掘された日本列島'97

(新発見考古速報展)

平成9. 12. 1 (月) ~ 12. 23 (火)



開 会 式

この展覧会は、文化庁の埋蔵文化財公開普及事業の一環として実施されるもので、全国各地で発掘調査された埋蔵文化財を広く国民に公開し、その保護への理解を図ることを目的としている。今年度は、東京国立博物館をはじめ鹿児島・愛知・青森・兵庫各県の博物館施設を巡回し、本館がその最終会場となった。開会式には、文化庁岡村道雄主任文化財調査官・石井知事・大杉県議会議長ほか多くの来賓のご出席を賜わった。

展示構成は、最近の発掘調査で全国的に注目された遺跡の出土遺物による中核展示「発掘された日本列島'97」(本館2階、第1・2展示室)と、岡山県内での近年の発掘成果を公開する地域展示「吉備-大地からのメッセージ」(本館1階、第3・4展示室)の二部構成とした。

21日間という短い会期であり、しかも年末の繁忙期にもかかわらず、計9,461名という多くの入館者で賑わった。

「発掘された日本列島'97」の展示資料は北海道から九州に至る約40遺跡・500点で構成され、新聞やテレビで報道された従来の歴史を書き換えるような貴重な遺物が数多く含まれていた。特に昨年度、考古学上の話題を独占した島根県加茂岩倉遺跡出土の銅鐸は、来館者の注目を集めていた。

展覧した主要な遺構と遺物は、次のとおりである。

〔旧石器時代〕

- 岩手県ひょうたん穴遺跡
旧石器人の食べカスと石器

〔縄文時代〕

- 三重県粥見井尻遺跡
日本最古の土偶
- 新潟県堂平遺跡
縄文土器の華、火焰型土器
- 高知県大宮・宮崎遺跡
石に刻まれた縄文ビーナス

〔弥生時代〕

- 岡山県南方(済生会)遺跡
弥生人の技術の粋を示す道具類
- 島根県加茂岩倉遺跡
史上最多39個の埋納銅鐸

〔古墳時代〕

- 三重県片部遺跡
最古の墨書文字「田」入り土器
- 石川県雨の宮一号墳
能登の王墓に納められた副葬品

〔古代~近世〕

- 北海道目梨泊遺跡
オホーツク文化の遺物
- 和歌山県根来寺坊院跡
中世宗教都市の遺物
- 滋賀県安土城跡
安土城の金箔鱗片
- 新潟県佐渡金山遺跡
金銀精錬に使用された大鉛塊



島根県加茂岩倉遺跡出土 銅鐸

地域展示

吉備 — 大地からのメッセージ —



鬼ノ城

地域展示では、主に平成元年以降の岡山県内における埋蔵文化財発掘調査の成果を、「旧石器・縄文時代のくらしと交流」「定住のはじまり」「農耕へのとりくみ」

「大陸からの影響」「米づくりとムラのまつり」「住居とムラ」「持ち込まれた土器」「墳丘墓から古墳へ」「装身具と権威の品」「さまざまな手工業」「古代の役所と寺」「原始・古代の戦い」「律令のまつり」「中・近世の城中の生活」「武士と庶民の生活」の15テーマを設定し、展示構成した。

展示資料は、岡山大学・岡山理科大学・岡山県古代吉備文化財センターをはじめ県下16市町村教育委員会が調査を実施した95遺跡約750点に達し、ひさびさの大規模な考古展覧会となった。

主要な展示資料は以下のとおりである。

| 〔資料名〕 | 〔遺跡名〕 | 〔所蔵機関〕 |
|------------|--------------|-------------------|
| 各種旧石器 | 上斎原村・恩原遺跡 | 岡山大学文学部考古学研究室 |
| 各種旧石器 | 倉敷市・王子が岳南麓遺跡 | 倉敷埋蔵文化財センター |
| 深鉢 | 岡山市・津島遺跡 | 岡山大学埋蔵文化財調査研究センター |
| 深鉢 | 総社市・南溝手遺跡 | 岡山県古代吉備文化財センター |
| 分銅形土製品 | 川上村・下郷原田代遺跡 | 蒜山郷土博物館 |
| 銅鐸 | 井原市・明見銅鐸出土遺跡 | 井原市教育委員会 |
| 刻骨 | 牛窓町・長浜用本遺跡 | 牛窓町教育委員会 |
| 特殊壺・特殊器台 | 落合町・中山遺跡 | 落合町教育委員会 |
| 直刀・鉄鏃・鉄斧など | 津山市・日上天王山古墳 | 津山弥生の里文化財センター |
| 石見型盾形埴輪 | 瀬戸町・玉井山相遺跡 | 瀬戸町教育委員会 |

| | | |
|-------------|------------|----------|
| 陶棺 | 北房町・定北古墳 | 北房町教育委員会 |
| 円頭大刀 | 総社市・緑山17号墳 | 総社市教育委員会 |
| 鬼瓦・軒丸・軒平瓦など | 笠岡市・関戸廃寺 | 笠岡市教育委員会 |
| 軒丸・軒平瓦 | 久世町・五反廃寺 | 久世町教育委員会 |
| 軒丸・軒平瓦・螺髪 | 長船町・服部廃寺 | 長船町教育委員会 |
| 鉄鏃 | 岡山市・清水谷遺跡 | 岡山理科大学 |
| 天目茶碗・羽釜など | 御津町・熊谷城跡 | 御津町教育委員会 |
| 軒丸瓦・備前插鉢など | 高梁市・備中松山城 | 高梁市教育委員会 |
| 土師質碗・須恵質甕など | 邑久町・助三知遺跡 | 邑久町教育委員会 |

なお会期中には、本館講堂で特別記念講演会を2度開催した。

特別記念講演会

- 演題 「農耕の開始と発展」

講師 ノートルダム清心女子大学 高橋 護 教授

日時 平成9年12月6日(土) 13:00~15:00
- 演題 「吉備の鉄」

講師 くらしき作陽大学 河本 清 教授

日時 平成9年12月13日(土) 13:00~15:00



関戸廃寺出土 鬼瓦

企画展

「岡山県指定重要文化財Ⅲ」

平成9. 4. 26 (土) ~ 5. 25 (日)

県指定の文化財は、それ自身が芸術的・歴史的な価値を有するものもあれば、人々の生活と深く関わってきたものもあり、親しみを抱かせるものも少なくない。

この企画展は、このような県指定の文化財を一堂に会し紹介したもので、平成元年及び2年度に開催した「岡山県指定重要文化財Ⅰ」「岡山県指定重要文化財Ⅱ」の継続展である。平成3年度以降に新たに指定された資料や、前回までに展示できなかった資料から、公開可能なものを展示した。

主な展示資料

| (資料名) | (員数) | (時代) | (所蔵者) |
|-------------------------|------|--------|-----------|
| 金銅装環頭大刀 (北房町大谷1号墳出土) | 1口 | 古墳 | 北房町 |
| 装飾付陶棺 (吉井町小枝2号墳出土) | 1基 | 古墳 | 吉井町 |
| 絹本著色両界曼荼羅図 | 2幅 | 鎌倉 | 棚原町 本山寺 |
| 絹本著色釈迦三尊像 | 1幅 | 南北朝 | 川上町 浄明寺 |
| 絹本著色寂室元光頂相 | 1幅 | 南北朝 | 高梁市 頼久寺 |
| 絹本墨画白衣観音図 | 1幅 | 室町 | 備前市 正楽寺 |
| 木造阿弥陀如来坐像 | 1軀 | 平安 | 岡山市 金山寺 |
| 木造南無仏太子立像 | 1軀 | 鎌倉~南北朝 | 成羽町 龍泉寺 |
| 和気安養寺文書 | 10通 | 鎌倉~室町 | 和気町 安養寺 |
| 金銅五鈷杵・五鈷鈴 | 各1口 | 鎌倉 | 岡山市 金山寺 |
| 能面翁(白色尉) | 1面 | 室町 | 建部町 七社八幡宮 |
| 紅糸素懸威銀箔押二枚胴具足 | 1領 | 戦国 | 邑久町 大賀島寺 |
| 大太刀 銘備州長船秀幸 | 1口 | 室町 | 岡山市 吉備津神社 |
| 大太刀 銘義隆 | 1口 | 明治 | 倉敷市 羽黒神社 |
| 妙本寺出土備前焼壺 | 3口 | 鎌倉~室町 | 賀陽町 妙本寺 |
| 備前 永禄銘花瓶 | 1口 | 室町 | 邑久町 静円寺 |
| 笠岡港の力石 | 4個 | 江戸~明治 | 笠岡市 |

企画展

「ふねとくらし」

平成9. 7. 19 (土) ~ 8. 24 (日)

南に瀬戸内海が広がり、北の中国山地と瀬戸内海を三大河川がつなぐ岡山県では、人々の生活は船と深く結びついて発展してきた。船によって多くの人・物・文化が伝えられ、遠く日本海沿岸各地や都、さらには大陸との結びつきを強めてきた。また船は、人々の信仰の中にも取り入れられ、年中行事にもその姿を見ることが出来る。

海や川の船を、歴史的に紹介し、祭りなどの民俗行事にも触れ、船と人々のくらしとの関わりをとおして、あらためて「ふね」を見つめ直す展覧会を企画した。

夏休み期間中の開催ということで、できるだけ小・中学生にもわかりやすい展示を心掛けた。

主な展示資料

(○印は県指定重要文化財)

| (資料名) | (時代) | (員数) | (所蔵者) |
|-----------------|------|------|-------------------------|
| ○金陵山古本縁起 | 室町 | 1帖 | 岡山市 西大寺 |
| 廻船雛形(宝廣丸) | 江戸 | 1隻 | 邑久町 若宮八幡宮 |
| ○高見八幡宮奉納模型和船 | 江戸 | 1隻 | 香川県 高見八幡宮 多度津町立資料館寄託 |
| ○絵馬「児島湾干潟漁業図」 | 江戸 | 1面 | 岡山市 御前神社 |
| 絵馬「御座船図」 | 江戸 | 1面 | 岡山市 住吉神社 |
| 御船入絵図(池田池文庫のうち) | 江戸 | 1舗 | 岡山大学附属図書館 |
| 朝鮮人米朝覚備前御馳走船行列図 | 江戸 | 1巻 | 個 人 |
| 船法 | 江戸 | 1冊 | 個 人 |
| 魚屋客船帳 | 江戸 | 1冊 | 個 人 |
| 船名額「皇帝丸」 | 江戸 | 2面 | 個 人 |
| 船名旗「富喜丸」・「福栄丸」 | 明治 | 3枚 | 個 人 |
| 福吉丸仕切状 | 明治 | 3冊 | 倉敷市史編さん室 |
| (山本慶一氏寄贈資料のうち) | | | |
| 住吉丸板図 | 江戸 | 1面 | 笠岡市立郷土館 |
| 船だんじり | 現代 | 1台 | 岡山市 兵主神社 |
| 薬船(祇園丸) | 現代 | 1艘 | 岡山市 沖田神社 |
| 絵馬「高瀬舟図」 | 江戸 | 1面 | 御津町 素盞鳴神社 |

「岡山の歴史と美」

～県立博物館・美術館巡回展～

県民共有の財産である県立博物館・美術館の歴史資料や美術品を、県内各地で身近に鑑賞していただく展覧会として企画した。今年度は、9月20日～28日に新見美術館で、11月15日～23日に津山郷土博物館で開催した。

主な展示資料（県立博物館蔵）

（資料名の○印は、岡山県指定重要文化財）

〈考古〉

- 袈裟襷文銅鐸（岡山市兼基出土）
仿製内行花文鏡（備前市鶴山丸山古墳出土）
- 石枕（備前市天神山古墳出土）
装飾付須恵器（邑久郡内出土）

〈文書〉

- 足利尊氏御判御教書（新見のみ）
足利義教袖判御教書（津山のみ）
新見荘内検帳（新見のみ）
宇田川槐園（玄隨）画像（津山のみ）
養老之滝図 古川古松軒筆
平賀元義歌幅

〈美術・工芸〉

法然上人伝法絵断簡（恩免の場）

- 十三仏図
図像抄
富嶽真景図 広瀬臺山筆
- 菊牡丹透華鬘
古瓦香炉 正阿弥勝義作

〈甲冑・刀剣〉

- 紫糸威腹巻
刀 伝長光
- 小太刀 幸景
刀 上野大掾祐定

〈民俗〉

熊野染夜着
岸田吟香売薬錦絵引札
盤香具

普及事業

博物館講座

「岡山県の歴史と文化」

本講座は、吉備の国岡山に生まれ、伝えられてきた文化遺産を正しく理解し、継承していくために、できるだけ実物資料に触れながら、郷土の歴史と文化を学習するものとして、例年好評を得ている。本年度は、60名の募集定員に対して、116名の応募があった。

現地見学会では、かつては吉備の国であった備後地域に出掛け、JR福山駅前に広がる「福山文化ゾーン」を訪ねた。

講座内容

| 開講日 | テーマ | 講師 |
|-------------|--------------------------------|-------------------------|
| 6/6 (金) | 中世の諸相 — 荘園の変遷から — | 学芸課主査 上林 栄一 |
| | 後楽園の造成と特色 | 総括学芸員 加原 耕作 |
| 6/13 (金) | 現地見学 (広島県立歴史博物館・福山市立福山城博物館) | 現地講師・本館職員 |
| 6/20 (金) | 古代の山城 | 教育庁文化課参事・副館長 葛原 克人 |
| | 中国山地の鉄 | 学芸員 田村 啓介 |
| 6/27 (金) | 江戸時代の岡山画壇 | 県立美術館主任学芸員 守安 收 |
| | 中世の山城 | 古代吉備文化財センター文化財保護主査 島崎 東 |
| 7/4 (金) | 岡山の仏教美術 — 室町時代を中心に — | 学芸員 中田利枝子 |
| | 瀬戸内の船 | 総括学芸員・学芸課長 竹林 栄一 |



現地見学 福山城

[平成9年度購入資料]

法然上人伝法絵 断簡

「一切経施入の場」 1幅 鎌倉時代末期



法然上人の生涯を描いた絵巻物のうち、今日最も古いと見られているものの断簡で、戦後十数幅の存在が発表されたもののひとつである。すでに本館では、これらのうち5幅を所蔵しており、これで6幅めである。今回購入したのは、四国配流を許された法然上人が、摂津国勝尾寺において一切経を施入したという場面である。

[平成9年度寄贈資料]

| | | |
|---------------|------|-------|
| 文人貼屏風 | 4曲1隻 | 中村 幸子 |
| 紙本墨画 山水図狩野常信筆 | 1幅 | 〃 |
| 伝沖ノ島出土 青銅製品残欠 | 一括 | 陶守 誠 |
| 船用木製滑車 | 4点 | 岸本 純行 |
| 帆布 | 1枚 | 〃 |
| 船用網 | 1点 | 〃 |
| 火縄銃 | 1挺 | 戸川 治彦 |
| ピン打ち式銃砲 | 2挺 | 〃 |
| 管打ち式銃砲 | 4挺 | 〃 |
| 火打ち式銃砲 | 1挺 | 〃 |
| 古代船「なみはや」模型 | 1隻 | 草井 格 |
| 門鑑(木札) | 1点 | 桑田 康信 |
| 大八車 | 1台 | 太田 正夫 |
| 塩田、農業、山仕事関係資料 | 一括 | 近土 敬順 |
| 備前焼 土管 | 1点 | 川端定三郎 |
| 須恵器 壺 | 1口 | 〃 |

平成10年度事業のお知らせ

○「岡山県の歴史と文化」

春季展 平成10年3月19日(木)～5月31日(日)
 夏季展 平成10年6月17日(水)～8月23日(日)
 秋季展 平成10年8月27日(木)～10月18日(日)
 冬季展 平成10年11月28日(土)
 ～平成11年3月14日(日)

○特別展「歴史を彩るひとびと」

—近世岡山の文化—

平成10年10月24日(土)～11月23日(月)

○企画展「物語絵の世界」

平成10年4月29日(水)～5月31日(日)

○企画展「はこぶ」

—運搬具のうつりかわり—

平成10年7月16日(木)～8月23日(日)

○奈良国立博物館名品展(予定)

平成11年2月下旬～3月中旬

○「岡山の歴史と美」

県立博物館・美術館巡回展(高梁市)

平成10年10月28日(水)～11月9日(月)(予定)

○博物館講座「岡山県の歴史と文化」

平成10年5月29日～6月19日(毎週金曜日)

《臨時休館のお知らせ》

平成10年6月1日(月)～6月16日(火)
 館内工事のため臨時休館とします。

岡山県立博物館だより No.49

発行日 平成10年3月31日

発行者 岡山県立博物館

館長 中力 昭

☎(086)272-1149